

跡見学園女子大学 学報



跡見学園女子大学は、平成27年度創立50周年を迎えました。10月24日には、本学文京キャンパス プロッサムホールにおいて50周年記念式典が、元文部事務次官 佐藤禎一様、日本私立大学連盟 会長（慶應義塾塾長）清家篤様はじめ、多くの大学関係者の皆様のご列席の下、盛大に執り行われました。式典に続き、祝賀会が3号館アリーナにおいて経済界、大学関係者、同窓会、後援会といった多彩な方々により盛大に開催されました。また、本年度は学園創立140周年、大学創立50周年を記念して購入した、森鷗外「舞姫」自筆草稿の展示、樋口一葉ゆかりの国登録有形文化財「旧伊勢屋質店（後に、菊坂跡見塾と命名）」のジオラマの展示、又、50年を振り返る写真パネル展も併せて開催されました。

本学の、未来に向かって挑戦し続ける様々な取り組みをご紹介します。

記事内容

- 50周年式典・祝賀会 学長挨拶 (2)
- 地域連携事業！！ (3)
- 学生会情報 ○第48回 紫祭報告 ○CLUB NOW (4)
- ゼミ紹介 ○「朗読コンテスト」優秀賞を受賞して ○コミュニティデザイン学科連携協力協定 (5)
- 国際交流課 春期海外研修のご紹介 ○平成27年度国際交流事業の概要と今後の展望について (6)
- 平成27年度就職懇談会報告 ○「OGと話そう！！～寮生への出張セミナー～」新規開催 (7)
- 図書館トピックス ○Office365のサービスが開始しました！！ (8)
- 跡見ギャラリー報告 かるたとり大会について ○平成27年度心理教育相談所関連事業
- 保護者説明・後援会大学幹事会報告 (9)
- 平成27年度 各種研究助成報告 (10)
- 平成27年度 学内講演会 開催報告 ○全学共通科目運営センター主催FD講演会報告 (11)
- 平成28年度 花塚記念資料館展示スケジュール ○新年度オリエンテーション予定
- 春の行事予定 ○履修申請 ○桜まつり・オープンキャンパスのご案内 ○編集後記 (12)

50周年式典・祝賀会 ご挨拶

学長 山田 徹雄



女子大学50周年記念式典を挙げていただけますこと、大変嬉しく、また光栄に思います。

ご列席の皆様を始めとして、関係各位のご協力と支えがあってこそ、本学はここまで存続し成長してまいりました。

大学の教職員を代表して、御礼を申し上げます。

ご来賓の皆様にはご多忙中、ご列席賜り、感謝に堪えません。

平成27年度は、本学の創立者である跡見花蹊生誕175周年にあたります。さらには、1875年、神田中猿楽町に跡見学校を設立して以来、140周年にもあたります。

「100年企業」は稀有な存在であります。一つの組織が長く存続するには、絶えず自己反省をし、時流を読み、質的な転換を図らねばなりません。

幸い本学には、時代の変化に果敢に挑戦するDNAが受け継がれています。

大学を設置した1965年度の「跡見学園女子大学入学案内」には、以下の記述があります。

「跡見学園は、終始 跡見花蹊女史の教育精神にのっとり、さらにこれを継承発展させ、つねに時勢に適応する女性教育を行って」きたと。

跡見学園女子大学は、この50年間に大きな発展を遂げてきました。

設置当初の1学部2学科の単科大学から3学部8学科の総合大学へと規模の拡大を遂げました。

1969年3月25日、第1回卒業式において、293名の学友が巣立っていきました。

2015年3月18日の卒業式には928名の卒業生・修了生を出すことができました。当初の規模のおよそ3.2倍となり、文京シビックホールで卒業式を挙げております。

開学時点の校舎は、現新座キャンパス1号館の1/3以下しか完成していない状態でした。

現在では、新座キャンパスに1号館から4号館までの教育施設の他に、食堂・喫茶のあるグリーンホール、体育館、図書館を備え、文京キャンパスとともに十分な教育機会を提供できるまでになりました。

また、学生寮は、新座キャンパス内の旧々学生寮、新座市野火止の旧学生寮を経て、この3月には、文京キャンパス至近に近代的な設備を完備しました。

規模・設備の充実にとどまらず、跡見学園女子大学はコンテンツを進化させてまいりました。

1965年 大学第1期生の入学時点では国文学科と美学美術史学科から編成される小規模の単科大学であり、設置認可された入学定員は、わずか80名です。

その後、英文学科と文化学科を設置し文学部4学科体制が長く続きました。

20世紀の間、教養主義的・伝統的な女子教育を維持

してきたことは、当時の時代に適合的であり、それが成功してきたといえるでしょう。

世紀転換期に至りますと、社会情勢の変化、男女雇用機会均等法の成立、女性の社会進出を背景に女子高等教育に対する社会の要求に大きな変化が生じました。

これを背景として、本学は2002年に第2の開学を迎えることになりました。

社会科学系の実践的な学部であるマネジメント学部の設置がそれでした。アメリカのマネジメント学部をビジネスモデルとし、コースワークを中心に、アカデミック・インターンシップを採り入れるという斬新な試みです。

設置申請にあたり、本日、ご出席を賜っております文部事務次官である佐藤禎様にご指導いただいたことを、改めて申し添えます。

あわせて、文学部の改組に取り組み、従来の4学科を人文学部に集約、同時に臨床心理学科を設置いたしました。

第2の開学に至る過程において、学園内に将来問題を検討するプロジェクトチームが置かれ、いくつかの答申が出されていました。

その最終答申は、短期大学部を大学の第三学部へ改組転換させる提案を行っています。

社会情勢の変化によって短期大学志願者が減少したことを踏まえ、短期大学部を閉学する決断に至った次第です。

短期大学部が有していた人的資源を活用して、2006年、文学部にコミュニケーション文化学科、マネジメント学部へ生活環境マネジメント学科を設置することとなり、また物的資産を継承して2008年に文京キャンパスの再開発を実現いたしました。

そののち、2010年文学部に現代文化表現学科、マネジメント学部へ観光マネジメント学科を設置したのち、我々は2011年3月11日東日本大震災を経験いたしました。

このことは、地域連携、地域貢献の重要性を痛感することとなり、これを背景として地域コミュニティの復興と活性化という課題を意識せざるを得ないパラダイム転換の状況を目のあたりにいたしました。

2015年に設置した観光コミュニティ学部観光デザイン学科およびコミュニティデザイン学科をもって、50周年を迎えることとなりました。

跡見学園女子大学は未来に向かって、挑戦し続けることをお約束し、ご支援に感謝し、ご挨拶をむすばせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



【50年史刊行】

地域連携事業!!

高齢者との食事会

地域社会との連携を深め、より地域に開かれた大学を目指すため、秋学期も様々な活動を行って参りました。そのひとつである、「高齢者とのお食事会」は生活環境マネジメント学科石渡ゼミの学生によるプロジェクトで、その活動は各種メディアでも取り上げられました。学生と高齢者が定期的に集い、一緒に調理をして食事をする(共食)ことで、高齢者の孤食を減らし、QOL(Quality of Life)を向上させることを目的としています。学生にとっては、授業の一環としてメニューの考案や調理法、衛生管理、共食がどのように高齢者のQOL向上に役立っているのか、等を実践的に学ぶ場であるとともに、普段接することの少ない高齢者と異世代交流を図ることで、机上では学ぶことのできない多くの貴重な経験をさせていただいています。どうしたら高齢者に喜んでいただけるか、相手の立場に立って企画を考え、行動することで優しさや思いやりを育み、社会人としての基礎力をより高めています。

また、参加した高齢者からは、「普段たくさん的人数で食事をする機会がないのでとても楽しい」「レシピをもらえるので自宅に帰ってから健康的な食事を食べることができて嬉しい」「若いパワーをもらえて元気がなれた」などの声が聞かれ、大変好評を得ていました。

学生手作りのレシピブックは特に喜ばれ、大切に持ち帰る参加者の姿が印象的でした。今後も学生の教育研究に資する取り組みに加え、女子大学ならではの特性を活かした連携事業を進めることで、より地域社会に根差した大学として社会に貢献することを目指して参ります。

旧伊勢屋質店(菊坂跡見塾)の一般公開

学園が取得、保存することとなった国の登録有形文化財「旧伊勢屋質店(菊坂跡見塾)」を、11月8日(日)より一般公開いたしました。旧伊勢屋質店は万延元年(1860)年に創業し、昭和57(1982)年に廃業しました。建物は幾度かの修繕がなされていますが、明治20年に移築された土蔵、明治23年に建設された座敷棟、明治40年に改築された見世部分が現存しています。明治の商家の面影を色濃く留めた建築遺構として、長く大切に保存していくべき貴重な文化財です。

また、本郷菊坂の地に暮らした明治の女流作家樋口一葉が、頻繁に通った質屋としても有名です。作家で身を立てることを目指すもその道は険しく、生活は大変苦しかったと言われていました。「伊勢屋がもとに走る」一葉は何度も日記にこう記していて、伊勢屋質店が一葉一家の窮乏生活をかろうじて救っていたとも言われています。

これまで、樋口一葉の命日である11月23日一葉忌にのみ公開されていましたが、学園が所有・保存していくにあたり毎週土曜日・日曜日(年末年始および大学行事による休館あり)は、一般に向けて公開することになりました。11月8日(日)の公開初日には約90名、11月23日の樋口一葉忌には250名を超える方が来館され、11月末日までの延べ来館者数は1,300名を超えました。

学園ではこの貴重な文化財を、「教育・研究」および「地域貢献・社会貢献」の二つの観点から保存して参ります。

大塚警察署との「災害時等における防災ボランティアに関する協定」について

東日本大震災の発生以降、本学においても防災対策を強化し、災害時には学生の安全の確保とともに、文京区内の大学としての社会的使命を果たすため、区との協力体制を整えて参りました。今後さらに地域の警察・地域社会と連携を深め、地域の安全に寄与するため「災害時等における防災ボランティアに関する協定」を締結いたしました。災害時以外にも警察署主催の各種イベントに学生ボランティアが参加しています。本年度は以下のような活動に参加いたしました。

●10/15(木)・10/26(月) 地域安全運動キャンペーン

江戸川橋駅前交番前にて、学生が振り込め詐欺対策に関する声掛けおよびチラシ配布を行った。

●11/24(火) 大塚警察署主催 テロ対策訓練

「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の開催に伴い、万が一爆発物テロが発生した際、被害の抑制等、効果的な対応ができることを目的に、大塚警察署主催により、椿山荘ロビーにて訓練が行われた。当日は学生、職員が見学。

●12/12(土) 警視庁主催 学生ボランティア研修会

災害時ボランティアに興味がある学生を対象に、ボランティアについて考え、意見交換をする研修会が開催され、本学からも学生が参加した。

●1/19(火) 大塚警察署主催「地域防災キャンペーン」

跡見ギャラリー前にて、防災・救護用品等を展示し、学生が大塚警察署の署員とともに、一般の区民に向けて声掛けをしながら、パンフレットやグッズの配布を行った。

長野県との協定について

本学と長野県は、同県における次代を担う人材の育成・確保と地域の活性化を図ることを目的に、相互連携を推進する協定を結んだ。平成27年度に実施した主なプロジェクトの一つが、御嶽山噴火によって観光客が激減した王滝村の新しい観光戦略づくりである。夏休みに3泊4日で観光マネジメント学科3年生17名が同村を訪問。御岳教信者に倣って滝に打たれ、湖でカヌー遊びに興じるなど、同村の観光資源を体験。最終日には学生たちが感じた同村の観光の魅力と課題、新しい観光プランの提言等を行った。学生たちの活動は地元テレビ、新聞で大きく報じられた。

一方、後継者問題を抱える須坂市峰の原高原ペンション村のインターンシップに、9月に入って6泊7日の日程で2年生12名が参加した。就業体験を通じて考えたペンション村活性化のアイデアを地元関係者にプレゼンテーションした。

学生が貴重な学外実習の場と地方へ目を開く機会を得られたという点で本協定の意義は大きい。



学生会情報

学生会本部 会長 鹿野 友里菜



春とは言っても朝夕はまだまだ冷え込みますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、私たち学生会本部は12月に選挙を終え、学生会会長に鹿野友里菜(人文学科2年)、副会長に小島奈々(人文学科2年)と原本紗李(人文学科1年)がそれぞれ選出されました。各自新たな役職に就き、日々奮闘しております。

先輩方の教えを受け継ぎつつ、学生の皆様がより良い大学生活を送れるよう日々努力をしながら、私たちも成長したいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

クラブや愛好会の部長・副部長が集うクラブリーダー交流会は12月19日、2月12日と2回行いました。コミュニケーション講座では、『キャリアトランプ』を使って自己理解を深めるとともに、リーダーとして部員たちとどのように輪を築いていくかを話し合いました。各クラブが抱える問題や引継ぎを終え、不安なことなどを意見交換する場面も見られ、良い雰囲気のまま終わることができました。

今月18日には卒業式が行われます。この日、多くの

先輩方(卒業生)が我が校跡見学園女子大学から輝かしい未来に向けて羽ばたいていかれます。今まで学ばれたことを活かし、社会でもご活躍されることをお祈りしております。

そして、4月には希望に満ち溢れた新入生を迎えます。昨年の12月5日に実施された入学前オリエンテーションでは、学生会の紹介に加え、入学後の学修やサークル活動、時間割の組み方など、目的に応じた学生生活についていくつか例を挙げて紹介しました。新入生の皆さんの真剣な眼差しから、入学後の自分を想像しながら聞いている様子がうかがえました。きっと跡見に新たな風を吹き込んでくれることでしょう。

学生会本部は、在学するすべての学生がより良い大学生活を送ることができるよう、精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



第48回 紫祭報告

紫祭実行委員会 佐野 夏実

ごきげんよう。委員長の佐野夏実です。

今年度の紫祭は2日間とも晴天に恵まれ、大きなトラブルもなく終わることができました。

ホームカミングデーの開催による卒業生の方々のご来場や法人事務局の皆様による出店などもあり、賑わいをみせておりました。10月31日にはハロウィーンの特別企画も行われました。

後夜祭の花火も雨が心配されていましたが、無事に打ち上げることができました。

今年度の紫祭を無事に終了できましたのも学長先生をはじめ教職員の皆様、一紫会の皆様、地域の皆様、参加団体みなさん、そして何より紫祭当日に新座キャンパスにお越しくださいました皆様のおかげでございます。この場をお借りして皆様に心より御礼申し上げます。

今年度の紫祭のテーマである『Bouquet(ブーケ)』は第49回紫祭実行委員会にバトンとしてしっかりと渡すことができました。

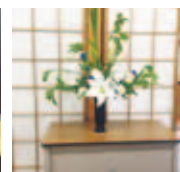
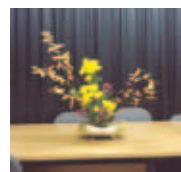
今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



CLUB Now

華道部

皆さまごきげんよう。華道部部長の富澤志穂です。我が華道部は、本学創設以来続いている由緒正しいクラブです。月に二、三回ほど新座と文京でいけばな、フラワーアレンジメントのお稽古をしています。もちろん講師の先生が毎回しっかりご指導くださいます。華道には流派があり、我がクラブは華道専正池坊という流派で、昭和5年に創流された全国組織の流派です。古典花である立華、生花、現代化の自然花、自由花、彩花、フラワーアレンジメント、一枝一花と新しい花もあります。さらに、現代の生活様式にあったシンプルないけばなのアレンジメントもあり、暮らしの中の装飾の一部として気軽に楽しむことができます。華道と聞くと、難しそうないメージがあると思いますが、そのようなことはありません。皆さまも大学在学中に、花に触れてみませんか。華道部はいつでもお待ちしております。



ゼミ紹介

吉澤ゼミ (コミュニケーション文化学科)

文学部コミュニケーション文化学科 教授 吉澤 京子



吉澤ゼミのテーマは「視覚コミュニケーション」です。一般的にコミュニケーションという言葉を用いる場合が想定され

ると思いますが、ここでは、言葉を介さず「ものの形」や色彩に意味を託して伝えるコミュニケーションをさします。視覚にうたえるものであれば何でも研究対象になるため、学生の研究テーマはポスターやパッケージデザイン、企業のロゴマーク、花言葉、紋章学など、多岐にわたっています。演習Ⅰ(3年生)では、この分野の概論を学んだ後、翌年の卒業論文執筆に向けて各人の興味に従った研究テーマを、時間をかけて探していきます。学生たちは自ら動き、積極的に情報収集を行っています。卒業生の中には、香港のテーマパークまで足をのびして独自の写真資料を作成した学生もいました。

横井ゼミ (生活環境マネジメント学科)

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 准教授 横井 由利



ファッション文化をテーマに掲げる横井ゼミは、ファッションの見識を広げるために積極

的に社会と繋がる活動をおこなっています。アパレル業界が避けて通れない環境問題やエシカルファッションを学ぶために、国連が主導するEFI(エシカルファッションイニシアチブ)の日本支部よりゲストスピーカーをお招きし、世界と日本の現状についてお話を聞きました。夏休みには、モード誌のヴォーグがアパレル産業の活性化と東日本大震災の復興支援を目的とした、原宿、青山地域のイベント『ファッションズ・ナイト・アウト』でボランティア活動を行い、雑誌とアパレル業界の関係を知ることができました。また、ルイ・ヴィトンのアートスペースの校外授業では、ファッションとアート、ブランドの文化貢献について学びました。

「朗読コンテスト」優秀賞を受賞して

文学部コミュニケーション文化学科 3年 神部 佑葵子

優秀賞を受賞することができ、とても嬉しかったです。正直、賞を取ることは意識していませんでした。私がこのコンテストに出場した理由は、自分の力を試したかったからではありません。自分の好きなことをしたかったからです。自分が作り上げた世界を伝えて、聴いている方に楽しんでもらえたらいいなと、それだけしか考えていなかったと思います。だから、会場に来てくださった方に自分の朗読を聴いていただけただけで満足していました。しかし、このような結果を残せたことで、自分の自信に繋がりました。私がこのコンテストに出場するにあたり多くの方にお世話になりました。決して自分の力だけで賞をいただくことはできなかったと思います。大学生活の中で忘れられない思い出になりました。支えてくれた友人と先生には感謝の気持ちでいっぱいです。



コミュニティデザイン学科 連携協力協定

【秋田県男鹿市】

昨年12月21日、本学は秋田県男鹿市と連携協力協定を締結しました。これは、主にコミュニティデザイン学科が活力ある地域づくり、観光振興、人材育成を目的に男鹿市をフィールドとして研究活動を実施するためです。男鹿市は、なまはげの伝統行事やジオパークなど観光資源に恵まれていますが、高齢化と人口減少が進んでいます。コミュニティデザイン学科の教員と学生が現地で研究活動を行い、魅力ある地域活性化の提案をしたいと考えています。



【山形県西川町】

昨年12月22日、本学は山形県西川町と連携協力協定を締結しました。西川町は、雪深い山村集落で地域づくり活動が盛んであり、既にコミュニティデザイン学科の学生がボランティアで関わってきました。また、今年2月には観光デザイン学科の学生が、5泊6日で観光イベント「雪旅籠の灯り」に協力しています。協定締結を機に、観光コミュニティ学部学生の学びと西川町の振興の両方に貢献できるよう、活動を更に展開したいと考えています。



国際交流課

春期海外研修の紹介

🇬🇧 国立スターリング大学 (イギリス) 🇬🇧

スターリング大学での語学研修は、夏期4週間(H27.8/2～9/1)、春期7週間(H28.2/11～3/27)にて実施しています。この研修では、海外での授業、生活、多くの人々との交流を通じて、語学力を向上させ、異文化への理解を深めることを主たる目的としています。現在実施している春期海外研修は今年度で3回目となり、夏期研修にはない、現地で日本語を学ぶクラスのお手伝いや、「JAPAN WEEK」という日本文化を地域の方々に広く発信するための大学イベントへの参加等の体験も出来ることから、参加した学生の満足度も大変高い研修となっています。

また、平成27年10月22日、スターリング大学からインターナショナルオフィスの職員(Ms. Maria Cid Castilla)が本学文京キャンパスへ来校し、過去にスターリング大学の研修に参加した学生とともに、施設見学や懇談をしました。

今後もスターリング大学と本学の関係強化を目指していきます。



[JAPAN WEEK]の様子(H27年度)



クラスの様子(H27年度)

🇺🇸 ローワーコロンビアカレッジ (アメリカ) 🇺🇸

ローワーコロンビアカレッジ(LCC)の研修は、跡見学園女子大学、ワシントン州ロングビュー市姉妹都市委員会、ローワーコロンビアカレッジが締結した三者協定に基づき、学生募集を行うものです。アメリカ合衆国ワシントン州にあるロングビュー市は、本学と平成24年に包括協定を結んだ、埼玉県和光市と姉妹都市協定を締結しています。この研修は今年度で2回目の実施で、昨年度(H27.2/15～3/8)は6名、今年度(H28.2/14～3/6)は7名の学生を派遣しています。英語を学ぶことに加え、ホームステイ体験によりアメリカの文化に触れること、現地の企業等を見学することで、日本とアメリカのコミュニティについて学ぶことを主たる目的としています。

また、平成27年10月13日には、ロングビュー市姉妹都市委員長、ロングビュー市シティマネージャー、LCC学長および、国際交流課長が本学文京キャンパスへ来校し、本学学長と挨拶を交わしました。

今後も本学と和光市の協力体制を確立し、埼玉県内での連携を強化することで更なる発展を目指していきます。



ローワーコロンビアカレッジ

平成27年度国際交流事業の概要と今後の展望について

今年度の夏期研修では、新たな研修先として、西部カトリック大学(フランス・アンジェ)への学生派遣を開始しました。本学で第二外国語として学ぶことが出来るフランス語を、現地の大学で、各国からの留学生とともに学ぶプログラムです。フランスの文化を学ぶ様々なアクティビティも用意され、参加者の満足度も高い研修となりました。また、かねてより交流の深い国立スターリング大学(イギリス・スコットランド)、今年度で2回目の派遣となる、国立政治大学(台湾・北京)およびロイヤルローズ大学(カナダ・ビクトリア)への研修も大過なく終了しました。春期海外研修では、国立スターリング大学への派遣を現在実施中。また、本学、ワシントン州ロングビュー市姉妹都市委員会、ローワーコロンビアカレッジの三者協定に基づき募集を開始した、ローワーコロンビアカレッジ(アメリカ・ロングビュー)の研修も、昨年度に引き続き、実現させることができました。その他、ピシケク人文大学(キルギス共和国・ピシケク)へは、本学との学術交流協定に基づき、図書に寄贈を行いました。

平成27年度春期、および平成28年度夏期には、跡見学園高等学校の国立スターリング大学での研修実施を予定しており、学園全体としての国立スターリング大学との関係強化を目指しています。

～平成27年度 海外研修の派遣人数～

時期	国名・大学名	派遣人数
夏期	イギリス・国立スターリング大学	14名
夏期	カナダ・ロイヤルローズ大学	8名
夏期	台湾・国立政治大学	4名
夏期	フランス・西部カトリック大学	4名
春期	イギリス・国立スターリング大学	13名 (研修中)
春期 (※和光市との包括協定に基づく※)	アメリカ・ローワーコロンビアカレッジ	7名

～海外大学との協定締結～

大学名	国・都市
国立スターリング大学	イギリス・スコットランド
ロイヤルローズ大学	カナダ・ビクトリア
西部カトリック大学	フランス・アンジェ
国立政治大学	台湾・台北
高雄餐旅大学	台湾・高雄
北京語言大学	中国・北京
ピシケク人文大学	キルギス・ピシケク

平成27年度就職懇談会報告

平成27年11月10日(火)、文京キャンパスと茗溪会館にて今年度の就職懇談会を開催した。本学の学生支援に多大なご協力を下さっている企業様53社と、学生参加者51名を併せ中身の濃い盛大な懇談会となった。

プロッサムホールで開催した第一部では、学長のご挨拶、副学長の大学案内に続き、就職部長から本学の就職の現状と就職支援プログラムが説明された。

本学ではこの4月、観光コミュニティ学部を新設、観光とコミュニティの両面から地域を活性化できる女性育成を目指すこととしている。勢い、従来から取組んでいる文京区との地域連携事業にも一層拍車がかかることとなった。就職懇談会では、学生達がゼミ活動を通して地域連携事業に関わる姿をお伝えすべく学生による報告会を行った。テーマは「共食を通じて高齢者のQOLを向上させる」というもので、訴求力ある発表内容・姿勢に参加者からは多くの好感が寄せられた。

続く茗溪会館での第二部では、理事長以下学園の役員のご出席も賜り、企業様と学園関係者との懇親を深めることができた。学生達にも企業様とお話しする機会を提供したことで、企業様で働く先輩として、社会人として、大人としての幅広く示唆に富んだお話を通じて、学生達自身が今後のキャリア形成を考えるについての多くの気づきやヒントを得られる大変良い機会となった。

学生達からは、様々な業界・様々な企業様の先輩方とお話を通して、「働くということ」についての考え方や業界・業種の見方など、視野が広がったとの声が多くあがり、将来の可能性に期待を抱かせてもらった。

懇談会終了後のアンケートでは企業様から多くのお褒めの言葉をいただいたところであり、今後の就職支援活動にも大きな弾みがついた。これもひとえに学園及び学園関係者のご理解・ご協力の賜と感謝する次第である。



第一部・学生による報告会の様子



第二部・企業様との懇談風景

「OGと話そう!!～寮生への出張セミナー～」新規開催

就職課では、平成27年11月20日(金)18:30～20:00、学生寮『メゾン音羽』にて、「OGと話そう!!～寮生への出張セミナー～」を開催した。Uターン関連のセミナーとして、今年度新規オープンした寮への、「出張セミナー」という形でOGが後輩への直接的なアドバイス等ができる機会を設定した。地元での活動の仕方や情報を得て、学生が就職活動をより活性化できるようにすることを目的としている。寮でのセミナーは、就職課としては初

めの試みである。

当日は、福島・栃木・静岡および東京出身の4名のOGにご参加いただいた。寮生は、授業等の関係もあったため、1年生2名・2年生4名・3年生4名・4年生1名、計11名が参加した。OGは後輩の質問に丁寧に答え、リラックスした雰囲気の中で、懇談は続いた。「就職セミナーなどでは聞くことができない先輩たちのリアルな意見が聞けて良かった」「地元就職ならではの苦労、コツなどを聞くことができとても有意義な時間だった。少人数に分かれての懇談の時間が一番いろいろ聞くことができ良かった。」など概ね好評の声を聴くことができ盛況であった。

次年度以降も定期的に寮との連携を取り、寮生が就職活動に積極的に取り組めるよう図っていきたい。



図書館トピックス

図書館と情報メディアセンターの機能連携について

学長方針に基づき、本学図書館と情報メディアセンターの機能統合を進めることになりました。

ソフトとハードという特質の違いはありますが、学生の学習支援、教員の教育・研究活動支援、そして職員の効率的業務遂行支援という、同一の設置目的をもつ2組織が、連携を強めることで一層の機能強化を図ります。その第一段として、春学期まで3号館1階を拠点にしてきた情報サービス課は、平成27年8月、図書館事務室内に移転しました（跡地は教室に改装されます）。

一方、3号館におけるPC教室等の障害対応など、

学生が多い建屋での窓口対応はやはり必要との判断から、3号館3154室に職員の常駐するサテライトを設けました。従来行ってきた3号館での機器貸出、各種受付手続などはこれまで通り、ここでお受けします。なお、1号館窓口は従来通りです。

これまでも図書館と情報メディアセンターは共同で講演会を企画運営するなど、さまざまに連携してきましたが、今後ますますお互いの機能を発揮しつつ、相乗効果により本学の教育・研究のため力を合わせていきます。両組織のこれからの進化にご期待ください。

図書館新OPACについて

図書館では平成27年9月に図書館システムをリニューアルしました。システム入れ替えに伴い、何よりも利用者の方々に使いやすいOPACシステムを提供することを考えました。新たな機能も付加された新OPACの便利ポイントをご紹介します。

1. OPACに加え、CiNii Articles、JAIRO、CiNii Books、NDLサーチをトップ画面に配置

ひとつの検索窓から各種データベース同時検索が可能となりました。所蔵資料を検索するOPAC機能中心から、学術情報一般にアクセスしやすくなり、学術情報ポータルとして生まれ変わりました。

2. ログインして利用するMyOPACの機能強化

ブックマークに蔵書情報、学術情報を取り込んでカテゴリ別に保管することが可能となり、学術情報保管庫としての機能が強化されました。開館カレンダーもキャンパス別に切り替え可能となりました。

3. スマートフォン対応

情報機器の主流となったスマートフォンに対応。

PC向けサイトとの連携で情報処理方法の幅が広がりました。

4. 百人一首データベースと一体化

百人一首データベースが新図書館システムのコンテンツとして一体化し、OPAC検索結果から百人一首アーカイブへリンクが可能となりました。目録データが画像データに直結することでよりリアルに百人一首の世界に接することができます。

このような新OPACを知っていただくために、9月から10月の月～金の昼休みに新OPAC体験PR会を新座図書館と茗荷谷図書館で開催しました。



Office365のサービスが開始しました!!

Microsoft Officeを利用する場合、これまではOfficeがインストールされたPCを購入するか、パッケージソフトとして必要な台数分を購入するのが一般的でしたが、この度、本学ではMicrosoft社とのライセンス契約により、在学中の学生及び在職中の教職員が、Microsoft社のクラウドサービスであるOffice365を利用して、Officeを個人所有のPCやスマートフォン・タブレットに、無償でダウンロードしてインストールすることができるようになりました。

なお、利用の際の注意事項や手順については、ポータルの文書ライブラリに、「4070 Office365利用案内・利用手順」として掲載していますので、ご利用前に必ずお読みください。

★Office365で利用可能な主なサービス

- ①最新版Office Pro Plus*のWindows PC及びMacへのインストール（最大5台まで）
- ②スマートフォン・タブレット端末へのOfficeアプリのインストール
（スマートフォン5台まで、タブレット端末5台まで）
- ③Office Online（端末にインストールせずにブラウザで利用するOffice）の利用
- ④One Drive（個人用ストレージ）の利用

※ Office Pro Plusのソフトウェアは以下の通りです。ただしLyncの使用権は含みません。
Word、Excel、PowerPoint、OneNote、Outlook、Access、Publisher、Lync、InfoPath

跡見ギャラリー報告 かるたとり大会について

跡見ギャラリーでは、日本有数の規模と内容を誇る跡見学園女子大学図書館「百人一首コレクション」から、以下の展覧会を開催しました。

百人一首現物13点、所蔵資料のパネル4点の展示に加え、本学と百人一首の関係をPRするかるた部会、学生と図書館をつなぐ存在である図書館ボランティアの活動についてのビデオ展示等も行いました。

さらに、平成28年1月9日(土)には、会場に畳を敷き、第3回「かるたとり大会」も実施しました。

■展覧会会期：平成27年12月8日(火)～

平成28年1月29日(金)

(日曜祝日および12月28日(月)～

1月8日(金)、1月16日(土)は休館)

■時間：月～金 午前 9時15分～午後4時30分
土 午後12時30分～午後4時30分

■入館料：無料

■主催：跡見学園女子大学

<かるたとり大会>

●日時：平成28年1月9日(土)

午後1時～午後4時

●内容：一般社団法人全日本かるた協会の方による競技かるたデモンストレーション

競技かるた体験会(跡見学園女子大学図書館ボランティアおよびかるた部会学生、跡見学園中学校高等学校かるた同好会生徒)



平成27年度心理教育相談所関連事業

① 一般向け講習会

【新座キャンパス】

- 7/18(土) 「変化を起こす工夫 一小さなことから コツ
コツとー」 講師：松崎くみ子
9/ 5(土) 「心のリラクゼーション」 講師：宮岡佳子
9/16(水) 「睡眠と夢」 講師：中野敬子
9/29(火) 「「うつ」からの社会復帰 一人と家族の
とりくみかたー」 講師：酒井佳永
10/3(土) 「不登校の理解と対応」 講師：野島一彦

【ATOMIさくらルーム】

- 1/14(木) 「睡眠と夢」 講師：中野敬子
1/21(木) 「変化を起こす工夫 一小さなことから コ
ツコツとー」 講師：松崎くみ子
1/21(木) 「不登校の理解と対応」 講師：野島一彦
2/ 6(土) 「心のリラクゼーション」 講師：宮岡佳子
2/18(木) 「「うつ」からの社会復帰 一人と家族の
とりくみかたー」 講師：酒井佳永

② 不登校を考える親の会

新座キャンパス=第1・第3金曜日 10:00～12:00
文京分室ATOMIさくらルーム=第2・第4木曜日
13:00～15:00 担当：野島一彦

③ ATOMIさくらルーム シニアカフェ

7/4(土)、12/5(土)、2回開催 担当：宮岡佳子
学生ボランティアと一緒に茶を飲みながら、おしゃべりや簡単なワークを楽しむ会です。65歳以上の方対象。昨年度より、文京区高齢福祉課との協働事業「シニアプラザ」の一環として開催されています。また、今年度は目白台交流館を拠点として活動している高齢者クラブ(目白台クラブ・ゆたか会・栄心クラブ)への加入促進強化事業としての実施となります。

④ ATOMIさくらルーム 子育てセミナー

11/15(日)、1回開催 担当：松崎くみ子
今年度は、文京総合福祉センター(リアン文京)にて行われた「福祉まつり」にて子育て関連ワークショップにおいて「子育てQ&Aコーナー」を開催しました。
乳幼児の子育て中の保護者の方を対象とした、子育ての素朴な「ハテナ?」「どうする?」について、さくらルーム相談員と一緒に対応策を考えるものとなります。

保護者説明・後援会大学幹事会報告

今年度の「保護者説明会」は8月29日(土)高崎会場、8月30日(日)新潟会場、9月5日(土)宇都宮会場、10月17日(土)文京会場にて開催し、4会場あわせて約360名の保護者の方にお越しいただきました。

文京会場では本学の教育や進路支援の実施状況を学長・副学長・学部長をはじめ学部学科、各部局の教職員より説明をさせていただきました。全体説明会終了後に、「各学科内容・履修関係」「学生生活(奨学金・クラブ活動等)」「国際交流」「就職・進路」「就職内定者と語ろう」の各ブースで個別相談を行いました。特に「国際交流」「就職・進路」「就職内定者と語ろう」のブースは盛況で、留学、進路に対する保護者の方の関心の高さが窺えました。次年度も保護者説明会を開催する予定です。また多くの方にお越しいただければと思います。

11月28日(土)に文京キャンパスで開催された「後援会大学幹事会」には、後援会幹事28名がご出席されました。大学からは学長、副学長、三学部長、学務部長、入試部長、就職部長、全学共通科目運営センター長、図書館長、事務局長が出席し、大学の現状や取り組みを紹介、報告をさせていただきました。大学幹事の方からも、貴重なご意見、ご質問などをお寄せいただき、終始和やかな雰囲気の中にも、充実した会となりました。

平成27年度 各種研究助成報告

平成27年度 外国出張助成 採択状況

所属	氏名	職位	目的	出張先	出張期間
観光コミュニティ学部	種田 明	教授	学会研究	フランス	H27.9.6-13 (8日間)
観光コミュニティ学部	坪原 紳二	准教授	研究	オランダ	H27.9.5-13 (9日間)

平成27年度 特別研究助成費

単位：円

所属	氏名	職位	研究課題	採択額
文学部	阿部 一哉	助教	跡見学園女子大学ドイツe-learningシステムの構築と運用	1,050,000
文学部	石田 信一	教授	旧ユーゴ諸国の歴史学と歴史教育・教科書に関する総合的研究	1,000,000
文学部	岩本 憲司	教授	三統説の演变	500,000
文学部	神山 伸弘	教授	ICT活用をつうじたヘーゲル『論理学』『存在論』初版の「量」論研究	1,707,000
文学部	山口 豊一	教授	小学生の学校適応感に関する研究—小学校版学校適応感尺度の作成を中心として—	520,000

平成27年度 学術出版助成 採択状況

単位：円

所属	申請者	職位	出版物タイトル	助成費
文学部	神山 伸弘	教授	ヘーゲル国家学	2,000,000
マネジメント学部	山田 徹雄	教授	ドイツ資本主義と観光	2,000,000

平成27年度 科学研究費助成事業

単位：円

所属	氏名	職位	研究種目	研究課題名	H27直接経費
文学部	寺本 敬子	助教	若手研究 (B)	近現代にパリ万国博が果たした役割についての実証的研究：万国博組織委員会を中心に	1,000,000
文学部	渡邊 大輔	助教	若手研究 (B)	戦後日本映画における児童観客の実態調査	500,000
文学部	石田 信一	教授	基盤研究 (B)	バルカン諸国の歴史教育から見た紛争と和解の研究	3,200,000
文学部	要 真理子	准教授	基盤研究 (C)	英国地方都市における前衛美術運動—リーズ・アーツ・クラブの軌跡	1,300,000
文学部	酒井 佳永	准教授	基盤研究 (C)	気分障害患者の家族を対象としたテイラーメイド型支援プログラムの開発に関する研究	800,000
文学部	山口 豊一	教授	基盤研究 (C)	学校コミュニティでの心理職活用を促進する学校マネジメントシステムの開発	1,200,000
マネジメント学部	鷹 咲子	准教授	基盤研究 (C)	大規模災害で被災した子どもの貧困防止策—給付の在り方を中心として	1,200,000
マネジメント学部	丹野 忠晋	准教授	基盤研究 (C)	医療用医薬品流通の経済分析	900,000
マネジメント学部	山澤 成康	教授	基盤研究 (C)	東日本大震災後の地域景気動向の把握—月次の都道府県別GDPの推計	600,000
観光コミュニティ学部	老川 慶喜	教授	基盤研究 (C)	川越商業会議所の設立と展開に関する総合的研究	1,100,000
観光コミュニティ学部	佐野 美智子	教授	基盤研究 (C)	これからの消費社会に適合する消費者心理指標の構築	1,500,000



平成27年度 学内講演会 開催報告



全学共通科目運営センター

- 平成27年度全学共通科目運営センター主催 FD講演会
日 時：平成27年11月18日(水) 13:00～14:30
場 所：新座キャンパス図書館視聴覚ホール
テーマ：入学者の現状と背景分析
—207大学入学前教育結果と全国350高校ヒアリング調査から考察する—
講 師：麻柄真治氏(株式会社ナガセ執行役員ビジネススクール本部長兼大学事業部長)
参加者数：58名

- 平成27年度全学共通科目運営センター主催 FD研修会
日 時：平成28年2月23日(火) 14:50～16:00
場 所：新座キャンパス2283教室
テーマ：「本学における語学教育と海外語学研修について」
報告者：石田信一教授(人文学科)
山崎妙准教授(人文学科)
池上貞子教授(コミュニケーション文化学科)
寺本敬子助教(人文学科)

文学部

- 文学部FDワークショップ
日 時：平成27年6月24日(水) 13:00～14:30
場 所：新座キャンパス2282教室
テーマ：「多人数科目の授業運営について」

- 発表者：笹島雅彦教授(人文学科)
渡邊大輔助教(現代文化表現学科)
小坂橋靖夫教授(コミュニケーション文化学科)
宮崎圭子教授(臨床心理学科)

大学院人文科学研究科

- 日本文化専攻主催 異文化交流フォーラム
◆第17回◆
日 時：平成27年7月11日(土) 15:00～17:10
場 所：文京キャンパス M2308教室
テーマ：「海外の研究者の日本文学研究」
講 師：クルボノヴァ・グルノザ氏
(ウズベキスタン、明治大学大学院)
モハammad・イムラン氏(インド、専修大学大学院)
参加者数：日本文化専攻担当教員、大学院生、学部生等 18名

- ◆第18回◆
日 時：平成27年12月12日(土) 15:00～17:10
場 所：文京キャンパス M2409教室
題 目：「西洋と東洋の間にある滑りやすい架け橋—禅とZENの語り合い」
講 師：ダヴァン・ディディエ氏
(フランス国立極東学院東京支部代表)
参加者数：日本文化専攻担当教員、大学院生等 9名

マネジメント学部(一部観光コミュニティ学部共催)

- マネジメント学部・観光コミュニティ学部共催 第1回FDワークショップ
日 時：平成27年6月24日(水) 13:00～14:30
場 所：新座キャンパス1409教室
テーマ：初任者に必要な知識の普及

- 発表者：宮崎正浩教授(生活環境マネジメント学科)
村上雅巳准教授(観光デザイン学科)
塩月亮子教授(観光デザイン学科)
石塚正敏教授(生活環境マネジメント学科)

- マネジメント学部・観光コミュニティ学部共催 第2回FDワークショップ
日 時：平成27年12月9日(水) 13:00～14:30
場 所：新座キャンパス3155教室
テーマ：(1) 研究倫理問題に関する全学の動向
(2) インターンシップ実施上の工夫

- (3) 研究倫理・倫理教育をめぐる
①優秀論文審査のポイント
②学内研究倫理審査の現状
発表者：笠原清志教授(マネジメント学科)
石塚正敏教授(生活環境マネジメント学科)
篠原靖准教授(観光デザイン学科)

- マネジメント学部主催 第3回FDワークショップ
日 時：平成28年2月23日(火) 12:30～13:30
場 所：新座キャンパス3155教室

- テーマ：ATOMIアカデミアの新プログラムの解説
発表者：鷹咲子准教授(マネジメント学科)
許仲江助教(マネジメント学科)

- マネジメント学部主催 キャリアデザイン講演会
日 時：①平成27年12月1日(火) 16:30～18:10
②平成27年12月4日(金) 16:30～18:10
場 所：①②新座キャンパス 花溪メモリアルホール
講 師：①・川邊 彌生(合同会社オモテナシズム 代表・マネジングダイレクター BCS認定プロフェッショナルビジネスコーチ)
・栗原 京(川口市役所) OG
・吉田 明花(トランスコスモス株式会社) OG

- ②・小島 貴子(東洋大学 グローバル・キャリア教育センター副センター長理工学部生体医工学科准教授)
・藤島 沙耶佳(株式会社セキュリティハウス/自宅バン教室開業) OG
・萩原 麻綾(株式会社ディリーススポーツ案内広告社) OG
テーマ：①「自分らしい素敵な生き方を送るために」
②「自分らしい素敵な生き方を創るために」
参加者：①183名 ②183名

全学共通科目運営センター主催FD講演会報告

全学共通科目運営センター長 石田 信一

2015年度のFD講演会は、株式会社ナガセの麻柄真治氏をお招きし、「入学者の現状と背景分析」をテーマに11月18日に新座キャンパス図書館視聴覚ホールで行われた。

講演では、まず高校までの学力低下の背景について概括的な説明があり、続いて各大学で実施している入学前準備教育での経年変化データ及び300校以上の高校教員へのヒアリング結果から判明した学力低下の実態に関する報告があった。これに加え、学力低下の一因ともいわれる教科書の内容の分析とそこから見えてくる問題点の指摘がなされ、地道なことの積み重ねから達成できる基礎学力の充実こそが重要であるとの見解が示された。積極的な意見交換がなされ、有意義な講演会となった。

平成28年度 花蹊記念資料館展示スケジュール

期 間	展覧会名・展示室 1	展覧会名・展示室 2
2016		
4月 1日(金)～ 5月29日(日)	花蹊と玉枝の画	「跡見家の女性たち教育・画・書展」 李子と書 書簡
6月 20日(月)～ 7月29日(金)	「跡見ゆかりの芸術家たち展」－ 近・現代作家コレクション －	
9月 20日(火)～ 11月 6日(日)	「跡見花蹊収蔵名品展」	
11月 28日(月)～ 12月21日(水)	「花蹊書の美展」	「跡見廉書会第10回OG作品展」
2017		
1月 25日(水)～ 2月 6日(月)	博物館実習生模擬展示	
3月 13日(月)～ 3月31日(金)	「跡見花蹊 画・書の心展」－ 教育者・芸術家としての歩み －	

※展示期間、展示内容は変更することがあります。

新年度オリエンテーション予定

●学部 新1年生対象

4月2日(土)	一人暮らしのガイダンス 学生寮オリエンテーション(寮にて入寮者のみ対象)
3日(日)	入学式・新入生説明会 (午前:文学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)
4日(月)	<文学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ 学科ガイダンス・グループミーティング・資格課程ガイ ダンス <マネジメント学部> 健康診断・進路ガイダンス・履修ガイダンス・アカデ ミア全体会・グループミーティング・アカデミア出発 <観光コミュニティ学部> 健康診断・進路ガイダンス・履修ガイダンス・学部ガ イダンス・オリエンテーション合宿出発 <外国人留学生> 外国人留学生オリエンテーション
5日(火)	<文学部> 健康診断・個別相談

●学部 新2年生対象

4月2日(土)	<観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ 学科ガイダンス(または学部プログラム)・グループミ ーティング・個別相談
4日(月)	<マネジメント学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ グループミーティング・個別相談・健康診断 <観光コミュニティ学部> 健康診断
5日(火)	<文学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ 学科ガイダンス・グループミーティング・個別相談・健 康診断

●学部 新3年生対象

3月31日(木)	<マネジメント学部> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履 修ガイダンス・グループミーティング・個別相談
4月2日(土)	<文学部> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガ イダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別 相談

●学部 新4年生対象

3月31日(木)	<マネジメント学部> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ グループミーティング・個別相談・健康診断
4月2日(土)	<文学部> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学 科ガイダンス・グループミーティング・個別相談・健康診 断

●大学院生対象

3月31日(木)	<マネジメント研究科(文京キャンパス)> 健康診断 <マネジメント研究科2年生> 履修ガイダンス・専攻ガイダンス
4月3日(日)	<両研究科新1年生(新座キャンパス)> 入学式・専攻説明会(午前:人文科学研究科、午後: マネジメント研究科)
5日(火)	<人文科学研究科(新座キャンパス)> 健康診断・履修ガイダンス・専攻ガイダンス

◆春の行事予定◆

3月	18日(金)	第48回学部卒業式・第10回大学院修了式
	19日(土)	謝恩会
	26日(土)	桜まつり(一般公開)・オープンキャンパス
4月	3日(日)	第52回入学式
	6日(水)	春学期通常授業開始

●履修申請●

●Web履修登録申請期間

- 1次 <2・3年生>4月6日(水)、7日(木)
<1・4年生>4月8日(金)、9日(土)
2次 <全学年>4月13日(水)、14日(木)

●履修登録状況(抽選結果)

発表 4月13日(水)、18日(月)

●履修登録訂正手続期間 4月18日(月)、19日(火)

桜まつり
オープンキャンパスのご案内

3月26日(土) 新座キャンパスにて開催

桜まつり **予約不要** **オープンキャンパス**

開催時間 **10:30～14:30** 開催時間 **10:00～15:00**

桜まつりは毎年行われており、45種189本もの桜*をお楽しみいただけます。学生団体による模擬店や地元銘菓・野菜等の販売が行われる予定です。図書館や資料館の見学もできます。また、3月1日(火)～5月15日(日)の期間は、桜鑑賞のため構内を一般開放しております。

受験生向けのオープンキャンパスでは、学食体験や体験授業など楽しい企画をたくさんご用意しております。

どちらも予約不要ですのでお気軽にお越しください。

皆さまのご来校を心よりお待ちしております。

*時期により咲いていない桜もございます。

●編集後記●

桜の咲く季節が近づいて参りました。新しい学部が設置されて、ようやく1年が経とうとしております。今後も本学が成長・発展していく姿を、学報を通じて逸早く皆様にお伝えできるよう、努めていきたいと思っております。引き続きご理解とご支援賜りますよう、お願い申し上げます。